

令和 3 年度使用

中学校用教科用図書研究資料（概評）

【音楽（一般）】

教科用図書北諸県採択地区協議会

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

（観点１） 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
17 教育出版	<p>(1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、全ての学年に、領域・分野ごとに構成された「学びのユニット」が示され学習のねらいに到達する工夫が見られる。</p> <p>また、全ての教材に〔共通事項〕にある「音楽を形づくっている要素」を明記した学びの手がかりとなるヒントや、学びを深めるための曲や活動が示されており、系統的で、主体的な学びが展開できるような構成・配列の工夫が見られる。</p>
27 教育芸術社	<p>(1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、全ての学年に、学習内容や教材を示した「学びの地図」が示され、学習のねらいに到達する工夫が見られる。</p> <p>また、全ての教材に〔共通事項〕にある「音楽を形づくっている要素」と学習指導要領の資質・能力の三つの柱との関連性が示されており、系統的で、主体的な学びが展開できるような構成・配列の工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

(観点2) 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
17 教育出版	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、全学年に「まなびリンク」「比べてみよう」「深めてみよう」が掲載され、学習の進め方について分かりやすく示されている。また、「話し合おう」では、自分の考えや感じ取った曲想等をまとめ、意見が交流できるようになっており、対話を通して学びが深められるように工夫されている。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」の習得のために、適宜、一人の教師のキャラクターが掲載され、吹き出しに具体的な学習の進め方やヒントが示されており、学びを確認できるようになっている。</p> <p>また、我が国の伝統的音楽については、口唱歌の動画や演奏動画がおさめられた「まなびリンク」を視聴することで、実感を伴う学びができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、学習内容の後半に記録用のワークシートが設けられており、学んだことを生かした表現の工夫を考えたり、比較鑑賞した気付きや考えをまとめたりするなどの工夫が見られる。</p>
27 教育芸術社	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、全学年に「深めよう！音楽」「My Melody ♪」「Let's Create!」が掲載され、学習の手順が分かりやすく示されている。また、掲載されているワークシートでは、自分の考えや感じ取った曲想等をまとめ、意見が交流できるようになっており、対話を通して学びが深められるように工夫されている。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」の習得のために、適宜、二人の教師のキャラクターが掲載され、吹き出しに具体的な学習の進め方やヒントが示されており、学びを確認できるようになっている。</p> <p>また、我が国の伝統音楽については、「演奏者からのアドバイス」のコーナーでの本人による解説やQRコード内の演奏動画によって、実感を伴う学びができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、生徒のキャラクターの吹き出しに、表現の工夫や協働的な学びへの視点等が示されている。また、学習内容に応じた書き込みページを設け、学びを振り返ることができるような工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

(観点3) 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
17 教育出版	(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、全学年の目次の右下に、「まなびリンク」としてQRコードが掲載されており、範唱の音源や雅楽師などの範奏の視聴等ができるように工夫されている。
27 教育芸術社	(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、全学年の必要なページにQRコードが掲載されており、楽器の演奏の仕方に関する動画や学習に関連する内容のウェブサイトの紹介が参照できるように工夫されている。

4 地域の願いや思い、生徒の実態等

(観点4) 曲想にふさわしい表現をしたり、鑑賞して知覚・感受したことを自分なりに表現したりするために、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
17 教育出版	<p>(1) 曲想にふさわしい表現をするために、教材の配列を工夫し、学習内容の関連を図る「学びのユニット」が示されている。また、音楽の構造や旋律のまとまりをとらえ、音楽全体の構成を理解して学習できるように「主要教材」を基盤にしている。さらに、「比べてみよう」「深めてみよう」と展開し、協働的に学ぶことができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 鑑賞して知覚・感受したことを自分なりに表現するために、見方や考え方、感じ取った曲想等をまとめて交流する「話し合おう」を設定している。また、聴き取ったり気付いたりしたことを記録し活動に生かすことに加え、比較鑑賞する教材を示し、音楽の共通性や固有性を考えながら、実感を伴う理解をもとにした表現ができるような工夫が見られる。</p>
27 教育芸術社	<p>(1) 曲想にふさわしい表現をするために、学習目標の実現に適した教材と活動文が示されており、具体的な学びの支えとなっている。また、教材ごとに音楽を形づくっている要素を例示し、「深めよう！音楽」では、ワークシートに書き込みながら学びを整理することで、主体的・対話的で深い学びを実現できる工夫が見られる。</p> <p>(2) 鑑賞して知覚・感受したことを自分なりに表現するために、「深めよう！音楽」で、ワークシートに書き込むなど手順に沿って学習を進めることで知覚と感受を整理し、言葉で表現するための工夫が見られる。また「指揮をする」「唱歌する」といった体験活動を取り入れることで、実感を伴う理解をもとにした表現ができるような工夫が見られる。</p>